

大分の家賃保証業 ジェイリース上場

初値、公募価格上回る

家賃保証事業を手掛ける「ジェイリース」(大分市)が22日、東京証券取引所の新興企業向け市場マザーズに上場した。大分県内の東証上場企業は6社目。東証で記者会見した中島拓社^{ひろ}長は「上場をスタートと考え、300人の社員とともに新しい挑戦をしていく」と述べた。写真。

家賃保証は賃貸不動産の契約時に、借り手の連帯保証人を代行する事業。同社は2004年創業で、九州各県のほか関東や関西などに18拠点を展開している。

中島社長は「われわれの商品はモノではなく信用。上場によって信用を高め、さらに優秀な人材も確保したい」と語った。

初値は公募価格(3100円)を上回る4170円、終値は3500円。調達資金を活用し、18年までに拠点を計25カ所に拡大するほか、データベースなどのシステム強化を進める。

同社の16年3月期連結決算は売上高32億900万円、経常利益2億300万円、純利益8700万円。17年3月期は大幅な増収増益を見込む。(田中良治)

西日本新聞(朝刊)

2016年(平成28年)6月23日木曜日 第30面

転載及びレイアウト変更許諾済

